

2024/8/23

幹事会議事メモ

日時：2024年8月23日(金)13:00~14:00

場所：河原センタービル2階 準備委員会事務所

参加：戎橋筋商店街 菊地氏、青木氏、山本氏

なんさん通り商店会 木村氏、木本氏、菊澤氏

高島屋 藤原氏、井原氏

マルイ 田中氏

南海電鉄 寺田、平木、入江、大前、稲元、廣田（記）

HBP 泉氏、岸本氏

1. ほこみち制度に関する Q&A

・ほこみち制度への理解を深めるため、事前に幹事会メンバーから頂いていた質問に回答した。資料に基づき、HBP 泉氏より説明。

●ほこみち区域について

藤原氏) ほこみち区域に指定することが可能なエリアを示すことはできるか。

泉氏) 警察協議が了承得られるかは確約できないが、提案として歩行者幅員 (4m) を指定して示すことはできる。

入江氏) 整備後のなんさん通りの歩行者量によっては、4m 以上となる可能性がある。

木村氏) 公開空地と連続した活用はできるのか？

入江氏) 公開空地は別途ルールがあり、連続 30 日以内、年間 180 日以内の活用と定められている。日数制限があるが、連続して利用することができる。

木本氏) ほこみち区域は現地でピンなどで明示されるか？

泉氏) 明示される。

岸本氏) 御堂筋には既にピンが設置されている。

泉氏) なんさん通りのほこみち区域のパターンがたくさんある。

●しみ出しについて

木村氏) 準備委員会が広場の運営者になれば問題ないが、他社がなった場合、なんさん北がその会社の運営となることを不安視している。

藤原氏) 例えばマルイのシースルーにしたガラス前に、何か大きなものを置かれたりしたときに営業補償の請求はできるか。(質問4に関連して)

泉氏) 請求はできない。ルール上は沿道地権者が拒否する権限はないが、実際は準備委員会が選ばれたときには、どのようなものを置いても良いかを選ぶ・許可する立場にあるので、どのように使われるかについては構成員の意思は反映される。

木村氏) 店前などに看板やデジサイを置かれてしまうことはあるか。

岸本氏) 広告の位置はほこみち公募の中で規定するのでほこみち事業者で場所を決めることはない。よって、その心配はない。

・各団体内部での説明のための振り返りとして、これまでの法制度適用にむけた議論の経過について、資料に基づき説明。

2. なんさん通りの献血受入について

・南海廣田より説明。赤十字より9月・10月のなんさん通りでの献血カー実施の依頼があった。なんさん通りについては10月には完成している予定であったが、信号工事の影響で舗装工事が完了していない見込みであるので、受け入れて良いか。

→工事完了していないため良い。(受入日:9/21(土)・10/12(日))

3. 今後のイベント受入について

①大阪市消防局イベントへの維持管理協力金減免対応

・3/1(土)に半面利用の依頼。内容は一日消防署長のセレモニーや消防車をいれての訓練デモンストレーション、子供向けの消防服体験などを通じた火災予防啓発。通常は5割減免となるが、予算が小さく維持管理協力金だけで全額なくなってしまうような規模。社会的な取り組みであることや広場は消防にもお世話になっており連携は大切であることなども鑑み、地域環境保全に貢献するという項目に当てはめ、減免措置することはいかがか。

→9割減免で対応する。

②みなみフェスへの維持管理協力金減免対応

・広場で協賛企業の打ち出しができないことから協賛金獲得が今年度は難しい。その中で維持管理協力金の減免依頼を受けている。通常であれば最大5割減免。大阪活性化事業実行委員会にとっては、広場の維持管理分が赤字分となるような収支見込みである。

→なんさん通りの活用社会実験の側面を持ち合わせることから、社会実験への協力をいただくという項目にあてはめ、9割減免とする。設営撤去時の現場立ち会い費など準備委員会での費用負担が発生することから1割は頂戴する。

③韓国イベント・ベトナムイベントへの共催

南海廣田より説明。

・これまで主催者の公共性担保のため、主催になりえるのが行政機関・一般社団法人・商店街等に限るとして交通管理者と整理の上、広場活用を行ってきた。

・今回、日韓文化交流イベントとして韓国の行政機関(文化体育観光部)が主催となったイベント実施について警察協議を行ったが、警察より日本における公的機関ではないことか

ら、海外の公的機関単体での主催が認められなかった。

・そのため、実施に際しては地域の共催をつけることで催事の公共性・地域にとっての必要性を担保したく、協議会を本イベントへの共催に位置付けたい。

・同様のことが今後10月下旬に予定している日越文化交流イベントにおいても予想されるため、同様に共催へ位置づけをさせていただきたい。

→協議会を韓国イベント・ベトナムイベントの共催に位置付けることで調整をする。

4. WEBサイトの作成状況について

HPの制作を実施いただいているCYUJOの川上氏より、HPのページ構成やテイストについて説明をいただいた。

菊澤氏) 広場から各場所(黒門市場や八阪神社など)へのアクセスがあればいい。広場が観光の拠点になるということがわかる・広場からここへ行けるという情報があればいい。

山本氏) ぶらっとなんばの検索上位はなんばの便利情報(休憩場所・待ち合わせ場所)が検索上位。そのような情報が必要では。なんば広場が関西圏の回遊の拠点になることを示す。既に情報が集約されている「ぶらっとなんば」と連携してもらえたら。商店街で作成した地図の提供も可能。

また、過ごし方のページは、広場での禁止事項などを前面に出すのではなく、机椅子は自由に使っていいことや、待ち合わせに使えることなどを示す方が良く思う。

藤原氏) 「大阪中心」は中央区のイベント情報やアーカイブ的に情報が集約されている。なんば広場にきてそのあとまちに行きたくなる情報として、リンクさせるのはどうか。

菊地氏) レイアウトについて、携帯で見た時のことを考えてほしい。トップページの情報ももりだくさん過ぎて、どこをみたらいいのか、わかりづらいように感じる。

山本氏) 利用者のペルソナを精査して考えるべきという話だと思う。このHPを見るのは広場に来る人と、広場からこれからどこかに行きたい人だと思う。

5. 広場における御堂筋イルミネーション実施内容について

廣田より説明。大阪府より今年も御堂筋イルミネーションの一環でなんば広場で光の演出を行いたいとの説明を受けたため、その内容について説明した。

・内容は広場の地面に対し、人の影が赤や青にうつる照射演出であり、広場への物の設置予定はない(南海ビルの庇を活用)。期間は11月3日~12月31日まで。その後今年も万博期間も御堂筋イルミネーションを行うため、4月からも再度演出を行う予定。

・8/30(金)には照射テストが広場で行われるため、関心のある方は見に来てほしい(※その

後、台風のため9/4(水)に延期)

- ・そのほか、広場に20cm角のポールを設置し、そこに表示されているQRコードを読み取ると、ARフォトフレームで写真が撮れる取り組みもあわせて行う。
- ・大阪府は準備委員会と地域の合意を取るよう警察より指導を受けている。

→ (1) 準備委員会としての合意について

- 広場側での活用予定もあるため、①照射範囲の調整 ②照射の色味の調整
- ③イベントとのバッティング等による点灯しない日等の調整を条件に受け入れる。

(2) 地域の合意について

一般的には「地域の合意」の場合は連合町会を指すものと思われるため、本件については協議会ではなく連合町会(精華連合・河原連合)に大阪府より説明に行ってもらおうこととする。

6. 自転車啓発イベントについて

戎橋筋商店街山本氏より説明。

- ・10/6に予定している自転車啓発イベントに関連して、イベント直前に新聞の折り込みで自転車マナー啓発のチラシを5枚ほど地域配布する。
- ・押し自転車について訴えかけるページや駐輪場マップなどで構成されるが、なんば広場の情報発信のコーナーも設ける。準備委員会側でこのページは準備することとなる。

7. その他

(1) パークス通タクシーレーン横放置自転車撤去状況について

南海平木から説明

- ・パークス通りの自転車撤去を9カ月ぶりに行った結果120台の撤去。撤去においてはタクシー乗り場を使わないといけないため、タクシー関係者に協力いただき実施できた。
- ・現在工事期間中の位置づけのため、工事主体の大阪市建設局がタクシー協会と協議してくれたり、工事警備員にて警備できているが、工事が終わった後の協議方法等が課題である。

(2) 9/21(土)22(日)御堂筋サテライトプランについて

- ・建設局主体で万博期間中に御堂筋を活用したイベントをしようという取り組みの御堂筋チャレンジ「万博サテライトプラン」のプレ開催という位置づけで行う。
- ・22日は千日前通りから難波西口交差点まで1車線残して御堂筋をとめる。こちらはミナミ御堂筋の会と連携してイベントを行う。
- ・なんば広場については「なんばカーニバル」の名前でミナミまち育てネットワークと連携して建設局が行う。ステージで専門学校生によるファッションショーやブースによるワークショップを行う。

以上